

ロンブリッドパネル仕様 認定概要			
※認定の詳細は認定書をご確認ください。			
固定工法	接着工法	機械的固定工法 (US工法・UD工法)	備考
認定種別	屋根30分耐火認定		●ベストブルーフRS・ニューベストブルーフなどの1.5mm厚の防水シート、ロンブルーフエースなどの2.0mm厚の防水シートは適用できません。 【ガラス不織布を使用した防水シートに限定されます。】 ●機械的固定工法の場合、固定用ディスクは垂木に固定しますので、固定ビッチにあわせて垂木を設置する必要があります。
認定番号	FP030RF-1994 (1)		
塩ビシート	ベストブルーフプラス (t=1.5mm+貼合発泡ポリエチレン2mm)	ベストブルーフ・ベストブルーフシャネツ・ ベストブルーフ ナンネン (t=1.5mm) ベストブルーフα (t=1.5mm+貼合発泡ポリエチレン2mm)	
下地	ロンブリッドパネル70mm (LBP20-50)		

ロンブリッドパネル 物性表							
厚さ (mm)		重量 (kg/m ²)		熱貫流率 (W/m ² ・K)		サイズ (mm)	
70 (硬質木毛セメント板20 + ネオマフォーム50)		21.3		0.358		910×1,820	
曲げ破壊荷重 (N)	最大引抜き荷重 (N) ビスφ5.0×100mm	積雪限度 (30N/cm/m ²)				長期許容荷重 (N/m ²) 9,960	長期積雪限度 (cm) 462
		タルキ@455mm		タルキ@606mm			
		長期許容荷重 (N/m ²) 16,490	長期積雪限度 (cm) 773				
3,070	1,440						

設計・施工について

- ロンブリッドパネルを留め付ける垂木は軽量型钢C100×50×2.3を使用し、大梁間隔荷重（積雪荷重など）に応じて垂木の設置間隔を設定してください。
- ロンブリッドパネルの接合部分は軽量型钢をダブルで設置してください。
- ロンブリッドパネルの垂木への敷設は隙間の無いよう敷き込み、接合部は必ず垂木の上になるようにし、留め付けてください。
- 固定ビスはロンブリッドパネル1枚に対し、一般地域で12本（垂木間隔606mm）、多雪地域で15本（垂木間隔455mm）を標準とし、各垂木の流れ方向に3ヶ所固定してください。
※高層建物、強風地域、多雪地域の建物については、固定本数が変わる場合があります。

- ロンブリッドパネルは、施工後収縮することがあります。
- ロンブリッドパネルを敷設する際は、安全対策上、スタンションや安全ネットなど墜落防止措置を施してから作業を行ってください。
- ロンブリッドパネルは、濡らすとシミ・汚れが出ることがあります。施工後はすみやかに養生をするか、防水シートを施工してください。
- バラベットの立上りにロンブリッドパネルを採用し、接着工法で防水シートを施工する場合はパネル表面の下地調整が必要です。
- 梁下が床面から4m未満の場合は、梁に法定の1時間耐火被覆が必要です。（垂木への耐火被覆は必要ありません。）

⚠注意 取扱注意事項

①使用環境に関する注意

- ・常時、水分に接するような場所での使用は避けてください。
- ・常時高温（100℃以上）で使用した場合は、熱伝導率を含む物性の低下をきたします。

②保管・運搬時に関する注意

- ・保管には直接日光のあたる場所、水分の接する場所は避けてください。
- ・保管は養生シート等で覆い、ロープ掛け等の飛散防止処置を行ってください。
- ・鋭角な器物との衝突や角当ては、損傷の原因になりますので避けてください。

③施工時、作業時の注意

- ・局部荷重や衝撃により割れるおそれがありますので、施工時には下地のない箇所には乗らず、垂木の上を歩行してください。また安全ネットを必ず使用してください。
- ・強風下での施工は風に煽られやすいので行わないでください。

④粉塵注意

- ・切断時には粉塵が発生しますので、切断器具には粉塵吸引装置を設け、また作業者は正規の作業服を着用の上、防塵マスク、防護メガネ等の使用をお願いします。
- ・狭い場所で多量の切断作業を行う場合は、十分な外気の導入を行い粉塵量を低下させてください。
- ・ネオマフォームの粉塵には健康上の有害性は認められていませんが、目に入った場合はこすらないで流水で洗浄してください。また、吸引した場合は、うがい等を行い粉塵を洗い出してください。

上記注意事項は、通常の取り扱いを対象にしたものです。特殊な取り扱いをされる場合は用途、用法に適した安全対策を実施の上ご利用ください。また、記載内容は現時点の資料、データに基づいて作成しており、新しい知見により改訂されることがあります。

〈免責事項〉

- ①本パンフレットに記載した取扱注意事項が行われず発生した不具合
- ②設計者、施工業者等使用者の指示した仕様・施工方法に起因する不具合
- ③設計者、施工業者等使用者から支給された材料・部品に起因する不具合
- ④施工業者による施工、取り扱いに起因する不具合
- ⑤建物の構造・下地の変形・老朽化や外部からの衝突等、弊社の製品以外の外的要因により発生した不具合

- ⑥使用者もしくは第三者の故意または過失による不具合
- ⑦引き渡し後、構造・性能・仕様等の改変を行い、これに起因する不具合
- ⑧製品起因による不具合を発見後すみやかに届けがされなかった場合
- ⑨開発・製造・販売等に通常予想される環境等の条件下以外における使用・保管・輸送等に起因する不具合
- ⑩地震・台風等の天災、火災等の特殊要因が原因により発生した不具合

※その他注意事項については、技術資料・施工要領書をご確認ください。

ロンシール工業株式会社

防水事業部 〒130-8570 東京都墨田区緑4-15-3 TEL.03-5600-1866 FAX.03-5600-1846

ロンブルーフ防水事業協同組合

事務局 〒130-0021 東京都墨田区緑4-15-3 ロンシールビル1F TEL.03-5600-4036(代) FAX.03-5600-4037

●印刷の都合上、掲載の写真等は実際の色柄とは多少異なる場合があります。

●当パンフレットは、仕様・商品の概略のみを記載しています。詳細につきましては、各仕様書・要領書をご確認ください。

●ご使用にあたっては、関連法規及び技術資料に従って適切に使用してください。

●ネオマフォームの詳細につきましては、「ネオマフォーム建築・産資総合カタログ（旭化成建材（株）発行）」をご覧ください。

●掲載内容の仕様、物性、品質等については予告なく変更となる場合があります。

●ネオマフォームは旭化成建材（株）の登録商標です。

●当パンフレットの無断転載を禁じます。

2022年2月版

2022.8.S3.2.G.G

LONSEAL

WATER PROOFING SYSTEMS

高断熱耐火野地板下地+塩ビシート防水 ロンブリッドパネル仕様

屋根30分
耐火認定構法
FP030RF-1994(1)

ロンシール

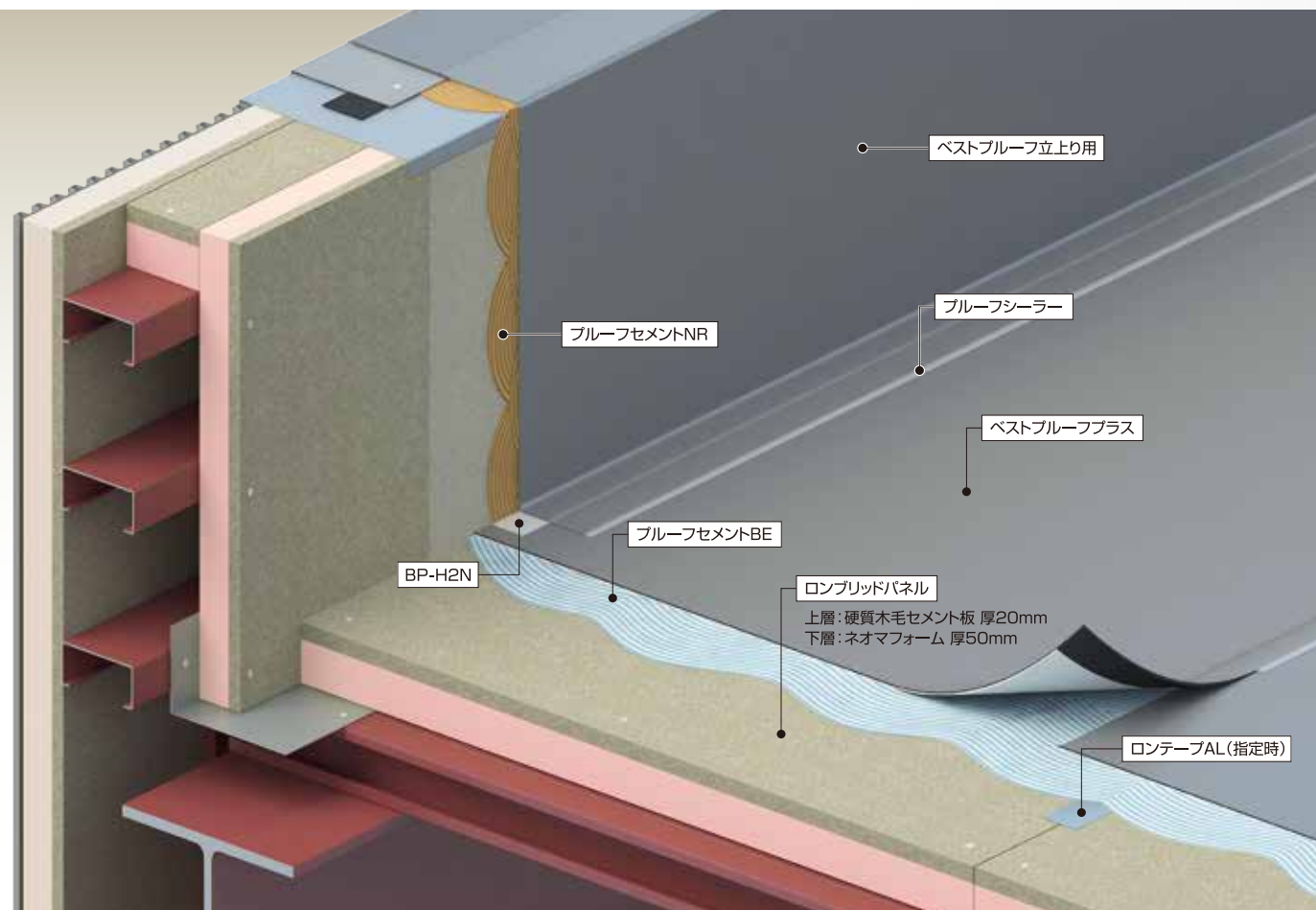
これまでなかった新しい『屋根30分耐火認定構法』



新登場

ロンブリッドパネル仕様

屋根30分耐火認定構法〈FP030RF-1994(1)〉



ロンブリッドパネル接着工法(BPP-110 LBP)の施工イメージです。実際とは多少異なります。
※立上りを接着工法で施工する場合には、モルタル等による下地調整が必要です。※平場の防水シートの固定は、機械的固定工法(US工法・UD工法)にも対応します。

■主要資材

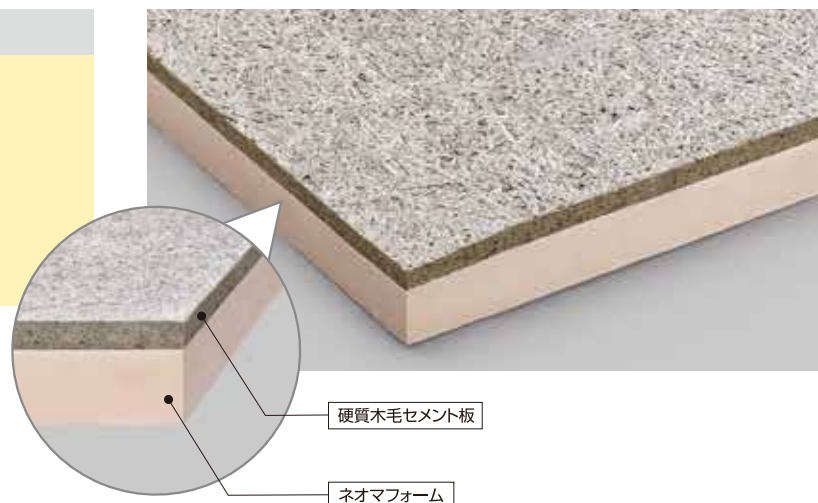
高断熱耐火野地板『ロンブリッドパネル®』

硬質木毛セメント板と高性能フェノールフォーム断熱材『ネオマフォーム』が一体となったパネルです。

規 格

- 厚 さ 70mm
 - 【硬質木毛セメント板層】20mm
 - 【断熱材層(ネオマフォーム)】50mm
- 幅×長さ 910mm×1,820mm
- 熱貫流率 0.358 W/m²・K
- 重 量 35.3kg/枚(21.3kg/m²)
- ※受注生産品

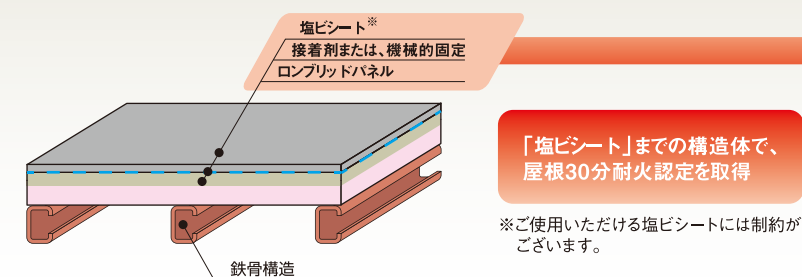
- 【ネオマフォーム 規格】
- JIS区分 JIS A 9521
フェノールフォーム断熱材1種2号CII
(PF1.2CII F☆☆☆☆)
- 熱伝導率 0.020W/m・K以下



下地と防水を合わせたトータルシステムで耐火認定を取得！
より安全性の高い防水システムが登場！

安心の耐火性

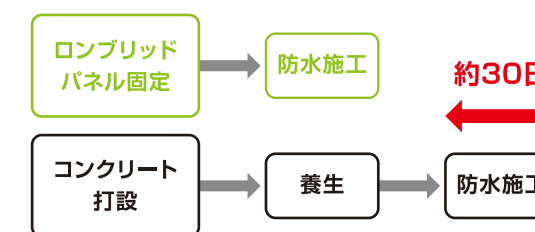
高断熱耐火野地板の『ロンブリッドパネル』と抜群の水密性を誇る『塩ビシート防水』を組み合わせた構造で耐火認定を取得しました。ロンブリッドパネル仕様は、耐火構造の屋根に必要な『非損傷性』と『遮炎性能』の2点を有した安全性の高い防水システムです。



耐火認定:FP030RF-1994(1)

抜群のスピード施工

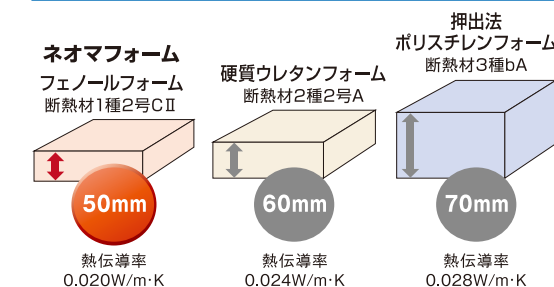
施工は、ロンブリッドパネルを垂木に敷設・固定し、防水シートを施工するだけの簡易な工事で高断熱かつ水密性の高い屋根を形成することができます。従来のコンクリート屋根に比べて施工期間の短縮化が図れるほか、軽量でコストパフォーマンスにすぐれた防水システムです。



高い断熱性・耐燃焼性

世界トップレベルの断熱性を誇る『ネオマフォーム』。他の断熱材と比較すると極めて断熱性にすぐれ、冷暖房の使用抑制など省エネに貢献します。また素材は熱に強く燃えにくいフェノール樹脂のため、着火した場合でも燃え上らず炭化するだけなので、火災の心配がない安心・安全な断熱材です。

熱抵抗 2.5 (m²・K/W) の場合の厚さ比較



すぐれた防水性

塩ビシートは熱可塑性の特性を生かし、溶剤溶着・熱風融着により一体化するため水密性の高い接合性能が得られます。金属下地にみられる“かしめ接合”と比べて、すぐれた防水性を発揮する屋根防水システムとなっておりますので、居住者の生活空間や建物自体を雨水から長期的に守ります。

